

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 4 月 8 日

事務事業名		障害者介護支援区分審査会運営事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	020403000491
		政策体系上の位置付け				単独/補助	補助	所属課	040101
政策体系	総合計画の施策名	O204 障がい者福祉の充実				主要事業	対象外		社会福祉課
	政策名	02 安心と安らぎのある健康福祉社会づくり				市長マニフェスト	対象外		
	施策名	04 障がい者福祉の充実				未来PJ事業	対象外	グループ	障がい者支援G
	基本事業名	03 福祉サービスの充実				合併建設計画事業	対象外		
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	03	01	03	01	00	障害者福祉事業		
法令根拠		障害者総合支援法				単年度繰返し (平成19年度~)			
						期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

手段	(1) 事務事業の概要	
	① 事務事業の概要 (事務事業の全体像)	② 担当者が行う業務の内容・やり方・手順
	<p>障害者に対する障害福祉(介護給付)サービスの必要性を明らかにするために、当該障害者等の心身の状態を総合的に示し、認定審査会により障害状況の調査結果(一次判定)と特記事項、医師意見書等を総合的に判断し、障害支援の区分を6段階に分類する判定を行う。毎月1回の審査会を開催している。審査会委員5名。</p> <p>区分の有効期間は最長36か月間であるため、概ね3年に一度更新する。</p>	<p>【担当者が行う業務の手順】審査会運営(審査会委員への審査会開催通知の送付、審査会関係資料の作成、決定通知の送付、審査会委員への報酬支払い)、県主催研修会参加者とりまとめ、県主催研修会参加。【事業費の内訳】報酬(審査会委員報酬)・旅費・手数料・食料費・印刷物類・燃料費</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

① 手段 (担当者の活動内容)	④ 活動指標 (活動量を表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
平成27年度 審査会開催 毎月1回、12回の開催 審査件数 103件	開催回数	回	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00
	審査件数	件	86.00	103.00	100.00	100.00	100.00
	研修会参加回数	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
サービスを必要とする障がい者	サービスを必要とする障がい者数	人	246.00	298.00	300.00	300.00	300.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③ 意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥ 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
障害支援区分の公平・公正な審査を受けることができる。	審査件数	件	86.00	103.00	100.00	100.00	100.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入	事業費	内訳	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	期間限定 総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
量	費	国庫支出金	千円	845	826	1,788	1,788	1,788	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	1,090	1,543	2,190	2,190	2,190	0
	事業費計(A)	千円	1,935	2,369	3,978	3,978	3,978	0	
量	費	正規職員従事人数	人	4.00人	4.00人	4.00人	4.00人	4.00人	
		述べ業務時間	時間	778.00	1,016.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	
		人件費計(B)	千円	2,257	2,947	2,901	2,901	2,901	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	4,192	5,316	6,879	6,879	6,879	

事業費の内訳	27年度事業費 実績 (千円)				28年度事業費 予算 (千円)			
	科目	金額	科目	金額	科目	金額	科目	金額
	01 報酬	1,921	01 報酬	3,381				
	09 旅費	17	09 旅費	93				
	11 需用費	21	11 需用費	22				
	12 役務費	410	12 役務費	475				
			13 委託料	7				
			合計	2,369			合計	3,978

(4) 当該年度の実施内容

実施内容	28年度の事業内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容
<p>※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 			

事務事業名	障害者介護支援区分審査会運営事業	事務事業No.	20403000491	所属課	社会福祉課
-------	------------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
 平成19年度からの障害者自立支援法の施行に伴い開始した。平成25年度より障害者総合支援法に変わり継続して実施している。福祉サービス利用者が、サービスを利用するにあたり、障害の支援を区分する上で審査が必要であり、毎月審査を行っている。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?
 特になし

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	障害者総合支援法に基づき実施しており、障害者の自立支援に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	障害者総合支援法に基づき実施しており、公共関与は妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input type="checkbox"/> 向上余地がない	障害者総合支援法に基づき審査会が公平・公正に実施されている。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	障害者総合支援法に基づくものであり、障害者が福祉サービスを受けられなくなるので、廃止・休止はできない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない	他に類似事業はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input type="checkbox"/> 削減余地がない	月1回審査会を開催しているが、開催回数を減らすことによりサービス利用の開始時期が遅れ、福祉サービスの低下につながる。また、最小限の人員で対応しているため、事業費、人件費とも削減することはできない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	障害者総合支援法に基づき実施されているので、公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	審査会委員の慎重な審議により、障害者の方に個々のニーズにあったサービスの給付がされている。サービスを受けたい方が、年々増加しているため、審査会運営は必要である。																							
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> </table>	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	コスト							削減	維持	増加
成果	向上																							
	維持			○	×																			
	低下		×	×																				
コスト																								
		削減	維持	増加																				
(6) 事務事業優先度評価結果																								
成果優先度評価結果 ⑦																								
コスト削減優先度評価結果 ⑥																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>